

中江藤樹とその教えを受け継ぐ人々 — 渋沢栄一・熊沢蕃山 —

中江藤樹は、近江国高島郡小川村（現在の安曇川町上小川）で生まれ、日本陽明学の祖として知られています。藤樹が残した書跡等は、古くから地域の人々によって大切に守られてきましたが、大津市打出浜にある県立琵琶湖文化館（休館中）にも、藤樹に関連する資料が数多く収蔵されていることはあまり知られていません。

藤樹神社創立には、藤樹の思想に深く共感し、大河ドラマの主人公として注目を集めている渋沢栄一が大きく貢献しました（令和2年9月号歴史散歩参照）。琵琶湖文化館に収蔵されている当時の高島郡長・佐野真次郎の資料には、渋沢がかねてから藤樹を尊崇していたことが記されています。また、藤樹の門人の中でも熊沢蕃山

は『大学或問』を著し、岡山藩における藩政改革の立役者となりました。その書跡が琵琶湖文化館に収蔵されています。令和4年は、藤樹の私塾の跡地である藤樹書院跡が史跡指定100周年の記念の年になります。また今年は、琵琶湖文化館も開館から60周年という節目の年となることから、滋賀県との共催企画

画として展示会および講演会を開催します。展示会では渋沢栄一や熊沢蕃山を始めとする中江藤樹に影響を受けた人物に焦点を当て、中江藤樹とその教えを受け継ぐ人々についてご紹介します。また、令和2年度に修理が完了した2件の仏画や高島市ゆかりの文化財も併せて展示します。普段公開されていない資料ばかりですので、ぜひこの機会にご覧ください。



木造中江藤樹坐像
森大造 作
(琵琶湖文化館蔵)

文化財課 (25) 8559

琵琶湖文化館開館 60 周年・ 史跡藤樹書院跡指定 100 周年記念展 「渋沢栄一と中江藤樹・熊沢蕃山 —高島市ゆかりの文化財とともに—」

【会期】 10月22日(金)～11月14日(日)
休館日：毎週月曜日、11月4日(日)
【第1会場】 高島市藤樹の里文化芸術会館 展示室1
開館時間 9時30分～16時30分
観覧料 無料
【第2会場】 近江聖人中江藤樹記念館
開館時間 9時～16時30分
観覧料 高校生以上300円
(20人以上の場合200円)
小・中学生無料
※20人以上でお越しの場合は事前連絡をお願いします。

関連講演会

【日時】
11月6日(日)
13時30分～16時10分
【会場】
高島市藤樹の里文化芸術会館ホール
【参加費】 200円
【定員】 100人(事前予約制)
【講座内容】

- ①「渋沢栄一と滋賀—その内面に与えた影響—」
講師：井上優氏(滋賀県文化財保護課 主幹)
- ②「高島市指定文化財の仏教美術」
講師：山下立氏(滋賀県立安土城考古博物館 主任技師)
- ③「未来に守り伝える地域の宝」～高島市指定文化財の修理報告～
講師：坂田さとこ氏((株)坂田墨珠堂 代表取締役)

【申込方法】
近江聖人中江藤樹記念館へ電話またはFAXでお申し込みください。
★詳しくは文化財課窓口・中江藤樹記念館・高島歴史民俗資料館・各支所等に配置されているチラシをご覧ください。

問・申 中江藤樹記念館 ☎(32)0330
FAX(32)0330

編集 雑感

あっという間に夏が過ぎ、秋本番の雰囲気になってきましたね。食欲の秋やスポーツの秋、芸術の秋などよく言われていますが、皆さんはどのような秋を過ごす予定でしょうか。まだ決まっておられない方は、ぜひ、22ページに掲載されている「みんなで575コーナー」に俳句を投稿してみたいかがでしょうか。皆さんの力作をお待ちしています。(K)



広報たかしま

令和3年
10
月号
No.261

発行▼高島市
編集▼政策部企画広報課
〒520-0150 滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

☎0740(25)8000(代)
http://www.city.takashima.lg.jp
t:info@city.takashima.lg.jp